

教科(科目)	芸術（書道Ⅰ）	単位数	2単位	年次	1、2、3年次
	必履修	必選択		総合選択	自由選択
使用教科書	「書Ⅰ」（光村図書）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③人文・自然科学系列、福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の4系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

書道の幅広い活動を通して書に関する見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の文字書、書の伝統文化と幅広く関わる資質、能力を次のとおり育成することを目指す。（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき効果的に表現するための基礎的な技能を身につけられるようにする。（２）書の高さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 指導の重点

- ・「漢字の書」の学習では、さまざまな書風にふれることによって鑑賞と表現の能力を高め、創作に活かしていく。
- ・「仮名の書」の学習では、古典に基づく表現技法を習得し、それらが日本の伝統に立脚していることを理解する。
- ・「漢字仮名交じり」の学習では、自らの思いや感動を表す語句を選び、漢字や仮名の古典の学習を生かして芸術的な表現とともに実用的な表現技法も高めていく。
- ・鑑賞の学習では、日常生活における書への関心を高め、書の伝統と文化への理解を深める。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・創造的な書表現をするために、漢字の書や仮名の書の基礎的な能力を生かし効果的な表現の技法を身につけて表現している。	・漢字の書や仮名の書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	・漢字の書、仮名の書の創造的な活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ ・学習への取り組み状況 ・感想カード、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・授業中の発言、作品発表への取組の観察 ・感想カード、提出物などの内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・学習への主体的取り組み状況 ・感想カード、提出物などの内容 ・発表作品の感想 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	書写から書道へ 基本点画	6	「新編書 道Ⅰ」	・中学校までの書写と高校芸術 科書道との共通性と相違を理解 し書の世界を知る。	6	授業態度 作品提出 作品カード
5 6	楷書の学習(古典 臨書)	14	「新編書 道Ⅰ」	・漢字の書体の変遷を学ぶ。 ・各古典の臨書学習により基本 的な点画や線質の表し方、運筆 法、用筆法を学ぶ。 ・表現の違いを理解し特徴を時 代と人物を通して鑑賞する。	14	授業態度 作品提出 感想カード 批評プリント
7	文化祭出品作品 制作(半紙)	6	半紙手本	・学習した表現方法を基に創作 し文化祭、公募展に出品する。	6	授業態度 作品提出
8 9 10	漢字仮名交じり 書の学習 行書の学習(古典 臨書)	4 10	「新編書 道Ⅰ」	・身近な言葉を書くことを通し て書道を愛好する心を育て自己 表現について学ぶ。 ・各古典の臨書学習により基本 的な点画や線質の表し方、運筆 法、用筆法を学ぶ。 ・表現の違いを理解し特徴を時 代と人物を通して鑑賞する。	4 10	授業態度 作品提出 感想カード 批評プリント
11 12 1	篆刻の学習	20	「新編書 道Ⅰ」	・印について学び書作品におけ る落款の重要性を知る。	20	授業態度 作品提出 感想カード
2 3	仮名の書の学習	10	「新編書 道Ⅰ」	・仮名の書の筆づかいに慣れ、基 本用筆を習得する。 ・仮名独特のリズミカルな運筆 を学ぶ。	10	授業態度 作品提出 感想カード 批評プリント

計70時間(50分授業)

7 課題・提出物等

- ・毎時間の課題に対し、充分練習をした上で清書を提出することになります。
- ・制作の意図や過程、自己評価を記入した作品カードを提出することになります。

8 担当者からの一言

- ・授業は作品制作を中心におこないますが、自分の作品や他人の作品についてどう思うかなど感想も聞きます。
- ・小中学校の書写の授業では学んだことのない用筆法(筆使い)や新しい表現方法を習得し、個性的な創作作品を制作します。